

富谷市農業委員会委員の推薦及び応募の状況(4月10日現在)

3. 個人による応募

番号	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の概況	認定農業者等の該当の有無	応募の理由	農地利用最適化推進委員への応募
1	ハヤサカカズヤ 早坂和也	41	男	農業	・農業委員 H29.7.20～R8.7.19	・営農状況23年 ・営農形態(水稲) ・竹林営農生産組合(大豆) ・耕作面積(自作地)499a(借地)1491a	有	現在3期途中ですが、農業委員を務める中で、他の農業委員さんと共に、担い手への農地集積・集約や遊休農地の解消、新規就農者の支援などに取り組んでまいりました。現場に足を運び、農家の皆様の声を丁寧に向いながら、地位の実情に即した合意形成を重ねてきたことは大きな財産です。一方で、高齢化や後継者不足、資材価格の高騰など、地域農業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。4期目にあたっては、これまでの経験とネットワークを生かし、より実効性のある施策推進(地域計画)と次世代への円滑な継承に尽力したいと考え、応募いたしました。41歳という世代の責任を自覚し、将来にわたり持続可能な農業基盤の確立に貢献してまいります。	無
2	ゴウケンショウコ 郷家昌子	51	女	農業	・農業委員 R5.7.20～R8.7.20	・営農状況9年 ・営農形態(畑作) ・耕作面積(自作地)16a(借地)78a	有	私は認定農業者として日々農業に取り組む中で、農地を守り活用していくことの重要性を強く感じております。これまで農業委員として1期務める中で、農業委員会総会や現地確認等を通じて、農地の適正な利用や農地制度について多くのことを学んでまいりました。地域では農業従事者の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地や遊休農地の増加などの課題も見られます。これまで自身の農業経営の中で培った経験と、農業委員として学んできた知識を活かしながら、地域農業の発展と農地の適正な保全・利用に努めていきたいと考え、2期目となる農業委員に応募いたしました。	無
3	アサノヨシオ 浅野芳夫	71	男	農業	・農業委員 H26.7.20～R8.7.21	・営農状況16年 ・営農形態(水稲) ・耕作面積(自作地)381a(借地)1178a	有	平成26年より農業委員を務め、地域農業の振興と農地の適正利用に取り組んでまいりました。71歳となりましたが、これまで培った経験と知識、現場での実践力を活かし、担い手の確保や遊休農地の解消などの課題解決に引き続き貢献したいと考えております。地域農業を次世代へ確実につなぐため、今後も誠実かつ公平な姿勢で職務に努める所存です。	無

富谷市農業委員会委員の推薦及び応募の状況(4月10日現在)

3. 個人による応募

番号	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の概況	認定農業者等の該当の有無	応募の理由	農地利用最適化推進委員への応募
4	イイダユミ 飯田由美	64	女	介護士	・農業委員 R2.7.20～R8.7.20	-	無	令和2年より農業委員として活動し、農地の適正な利用促進や遊休農地の発生防止、担い手支援などの課題に取り組んでまいりました。 私は農業者ではありませんが、利害関係を有しない中立委員として、公平・公正な立場から審議に参加し、地域全体の利益を第一に考えた判断に努めております。 64歳となりましたが、これまでの社会経験や調整力、傾聴の姿勢を生かし、農業者の皆様と行政をつなぐ橋渡し役として引き続き責任を果たしたいと考えております。 今後も地域農業の持続的な発展に貢献するため、誠実に職務に取り組む所存です。	無
5	ムラカミサチエ 村上幸枝	63	女	NPO法人	・農地利用最適化推進委員 H29.7.20～R8.7.19	・営農状況8年 ・営農形態(畑作) ・耕作面積(自作地)295a(借地)20a	無	平成29年7月から農地利用最適化推進委員として活動をはじめから、農業の活性化や保全等、また、農家のみなさんとのコミュニケーションを通して、さらに農業について学ぶことができました。 NPO法人SCRとして、農家のみなさんや地域の人々と共に、交流や催しを通して、自然環境保全に対する意識の向上と世代間を繋ぐ持続可能なまちづくりを行っています。大亀山森林公園の活用に取り組み、地域社会づくりができていることは大きな財産になっています。 引き続き農家さんとコミュニケーションを取りながら、農業に携わりたいと思い応募しました。	無
6	コセキユキオ 古跡幸夫	78	男	農業	・農業委員 H29.7.20～R8.7.19	・営農状況49年 ・営農形態(水稲) ・耕作面積(自作地)94a(借地)626a	有	私は認定農業者として農業経営に取り組みながら、これまで農業委員として地域の農地利用の適正化や農地保全に努めてまいりました。 近年、農業従事者の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地や遊休農地の増加など、地域農業を取り巻く環境は大きく変化しています。 こうした状況の中で、地域計画に基づき農地の集積や有効利用を進め、持続可能な地域農業を実現していくことが重要であると考えています。 これまでの経験と認定農業者としての実践を活かし、関係機関や地域農業者と連携しながら、地域農業の発展と農地の適正な保全・利用に引き続き努めていきたいと考え、4期目となる農業委員に応募いたしました。	無